

現代思想と精神医学の関わり

五反田駅前メンタルクリニック

奥村 克行



はじめに

内科、外科などの身体医学は思想や哲学と関わる機会は少ないが、精神医学は歴史的にそれらの領域と深く関わってきた。現代思想や現代哲学の成立には精神医学が大きな役割を果たしている。本稿では始めに現代思想について解説し、その後に現代思想と精神医学の関係について述べる。

現代とは何か

現代思想は1970年頃から世界的に広まり、日本でも1980年代にニューアカデミズムとしてメディアにも取り上げられたため、記憶しておられる方も多いと思われる。

現代思想という言葉は広義には現代に営まれている様々な思想の総体を指すが、狭い意味では構造主義やポスト構造主義を中心とした特定の内容と特徴を持つ思想であり現代哲学と同義に使われる。ここでは「思

想」という言葉は広く人々の思いなしを表し、「哲学」は思弁で認識や存在の確実性を追求する学問という意味で用いる。現代思想は西洋文明の終着点であり、哲学を発展、解消し、西洋近代が抱える問題に解答を与えた。

思想史的な時代区分は現代思想によって分けることが可能であり、「現代」と「近代」の間には思想的な不連続性がある。構造主義とポスト構造主義が出現、発展、普及、定着していくのが「現代」という時代である。

現代思想成立の流れ

19世紀末にはすでに現代思想のルーツとして実存主義哲学や現象学、現代数学、構造主義言語学、精神分析学が出現していた。その中で特に重要なのが現代的構造論の誕生とその実践的応用である構造主義である。構造主義の出現は数学の分野で最も

早かったが、数学だけでなく様々な領域で同時多発的に発生している。

1960年代にはモダニズムのイデオロギー絶対主義やマイノリティーへの抑圧などに対する批判が一因となり思想界でも構造主義が流行した。J.サルトル（1905-1980）とC.ストロース（1908-2009）の西洋中心主義を巡る論争は有名である。構造主義が広まる中で構造主義を絶対化する流れが生じ、それに対する批判と構造主義の認識論への導入を契機にポスト構造主義が生まれた。

認識を巡る近代哲学の問題

現代思想は物と事の実在性、実体性に対して、近代哲学とは異なる捉え方をする。

西洋近代哲学では認識論と存在論は2つの柱である。知覚、観念、記憶、閃きのような精神の内面に実在感をもって生じる表象を哲学では「現前」と呼ぶ。そして現前を根拠に事物が実体として存在するとする考え方を素朴实在論という。素朴实在論では事物の存在が一次的であり事物相互の関係性（構造）を二次的と考える。素朴实在論的は人の自然な感覚に合致しているため近代以前の哲学を支配したが同時に様々な問題を生じた。

その後構造主義が人間の精神に対して適用され構造主義による認識論が生まれた。構造主義的認識論では一次的なのは関係性（構造）であり、実体や実在は二次的なものとする。これは素朴实在論的認識論とは逆の考え方であり、ここに現代哲学が誕生した。

ポストモダンの哲学 東洋思想との関係

構造主義の後のポスト構造主義では、対象は素朴实在論と構造主義の2つの方法で同時に認識されるべきであるという考え方が生まれ、さらにこの2つの認識の方法を並列し俯瞰的に眺める視点を持つに至った。このメタ認知的視点の獲得により近代哲学は相対化され終焉を迎えた。

科学は哲学が与える認識と存在の確実性に依拠して成立しており、現代哲学は哲学の到達点であるため現代社会は現代思想に支えられている。現代思想は西洋文明の文脈を離れると実は仏教と同じ思想である。般若心経の「色即是空、空即是色」で知られる空論、中観論、三諦論などの仏教教学は現代哲学と同じ考え方をしてしている。

正常と異常を巡る精神医学の問題

哲学と精神医学には精神を扱うという共通点があるが、哲学が正常な認識の仕組みの理解を目指すのに対し精神医学は異常な認識の理解を目指すという違いがある。精神医学における異常の研究は哲学が正常を理解することを助けたが、この関係は病理学と生理学の関係に類似している。

その他、哲学が思弁を用いるのに対して精神医学は現実に触れ具体的な症例から学ぶという方法論の相違があり、この相違から精神医学は哲学へ思考材料を供給した。

ここで正常、異常という言葉を使ったが正常と異常を厳密に定義するのが容易ではないという問題がある。精神医学において正常と異常についての基本的な概念の整理

を行ったのがK.ヤスパース（1883-1969）である。

ヤスパースの精神病理学

実存哲学者として有名なヤスパースは初め精神科医であり、哲学転身前に著した『精神病理学』は精神病理学の基礎となった。

病理学は医学の基礎であるが精神医学は他科のように生物学な異常が解明されておらず、近代医学の方法が利用できなかった。ヤスパースは精神医学の信頼性を確立するためE.フッサール（1859-1938）の現象学を導入し「説明」と「了解」の概念を考案した。そして病者の内面を因果関係で説明可能か、知覚や感情移入で了解可能かで判断し、了解不能性により正常と異常を診断、分類する精神医学独自の方法を作り出した。

これは精神医学の発展に大きく貢献したが、他方で正常を本来的、また異常を非本来的で従属的なものと見なし、異常を故障した機械のように欠陥、劣等、混乱、失調のイメージで捉える見方を固定化した。しかしその後の精神医学は、精神病という異常とされたものの中にも法則性があること、正常も異常を含むこと、正常と異常は断絶ではなく連続性があること、両者を統合する見方があることを発見する方向に進んだ。

医学における精神の発見

19世紀には神経内科と精神科は未分化であり、様々な疾患が未分類で混在していた。神経病学で有名なJ.シャルコー（1825

–1893）は、症状では区別できなかったてんかんとヒステリー（神経症）を催眠術を使って鑑別した。これは器質的な異常を持つ神経内科の疾患を精神科から分かつ転機となった。シャルコーの下には多くの医学者が集まり研究、教育が盛んであったがS.フロイト（1856-1939）もその中の1人であり、彼は神経症研究から精神分析学を創始した。

ラカンの構造主義的精神分析

その後、J.ラカン（1901-1981）が後期フロイトの精神の構造論を一般化し、構造主義的精神分析に発展させた。ラカンのシェーマLというモデルは自己同一性や他者の恒常性を説明する理論であるが、これは哲学の現前の生成の説明にそのまま転用できる。

この理論では精神病の症状は現前生成機能の障害として説明可能である。フロイトの精神分析は神経症という異常の解明だけでなく正常な心の理解を深めたが、構造主義的精神分析も正常、異常を問わず精神の認識機構一般を統一的に説明できるものになっている。フロイトとラカンは共に精神科医であり、異常から学んで正常を解明した点も共通している。

正常と異常の解体、デリタの脱構築

構造主義は哲学に留まらない考え方であり、色々な領域が構造化可能であるが、ポスト構造主義は哲学と同じく認識や存在を解明のテーマとしているため現代哲学と広

く重なる。

西洋近代哲学はJ.デリダ(1930-2004)により完成形が与えられた。近代的認識論では現前には正常と異常があり、正常な現前が対象の实在性や実体性を保障すると考えるが、ポスト構造主義的な認識論では正常な認識と、幻覚や妄想などの異常な認識には質的な違いはないと考える。デリダは再現前、差延、脱構築の概念を用いて、現前が事物の实在を保障しないことを明らかにするとともに、近代的認識の錯誤や誤解から逃れる方法を提示した。

精神病院改革とガタリ

現代思想を理解することは生き方の指針を与えるものではないが、G.ドゥルーズ(1925-1995)とF.ガタリ(1930-1992)は現代における生き方のビジョンを示した。その中で統合失調症を正常の欠失ではなくスペクトラムの極性として捉え、統合失調症性を生き方の可能性として肯定的な意味に転換させている。ガタリは精神科医でラカンの弟子であり、精神療法の分野で革新的な精神科病院の創設を試み精神科医療改革運動に関与した。

フーコーの反精神医学

人文・社会科学の領域から精神医学を批判したのがM.フーコー(1926-1984)である。フーコーは精神病患者が17世紀には理性のない人々として浮浪者、放蕩者、貧者、無神論者と一緒に排除されていたが、近代には病気としてそれらの人々からも分離し

病院に隔離されてきた歴史を研究し、時代の知識構造の変化を文献学的に提示することで精神科医療に問題提起を行った。フーコー自身も反精神医学という精神病患者の解放運動に関わっている。

おわりに

他の科学の領域と比べて臨床医学は臨床研究を巡る問題から実証的研究が遅れたが、器質的異常が発見できずにいた精神医学は特にその傾向が強かった。しかし1980年のDSMⅢ以降は統計学的研究が主流となり、形而下学的な応用科学としての傾向を強めているため、現代思想と関わる機会は減少している。

そのような状況下で今後精神医学と現代思想が関係する可能性としては、第一に精神分析学におけるラカン派のように精神療法の分野での現代思想の応用が考えられる。第二に現代思想の影響を受けた情報科学や認知科学などの他領域の発展が精神医学に還流する可能性が考えられる。最後に、現代思想の理解は認識に関するメタ認知能力を高めるが、メタ認知能力の向上は統合失調症の病識強化や発症予防にプラスに働く可能性が考えられる。

社会のありようがますます現代思想的になっている中、今後の動向を見つめていきたい。

(おくむら・かつゆき=品川区)